



令和5年度 大江小学校だより

大江丸

令和5年11月15日 発行



6年生製作「大江丸の大漁旗」

レッツ全力航海!

秋の爽やかさと、冬に向かっていることを感じさせる冷たい風をうけ、季節の境目にいるのだなと感じる11月の今。子供たちは、11月18日(土)に行われる学習発表会に向けて、練習を積み重ねています。教室や音楽室、体育館など、あちらこちらから子供たちが張り切ってせりふを言う声、大きな声で歌う声、楽器を演奏する音などが聞こえてきて、本番に向けての気持ちの高まりが感じられます。

今年度から、学芸会ではなく、学習発表会に改め、子供たちと先生が何について発表しようか、どんな方法で表現しようかと相談し、作り上げていくことにしました。音楽または劇という枠にとらわれず、また、学年単独という枠にもとらわれず、自由に表現できる学習発表会で、子供たちがどんな輝きを見せてくれるのか、楽しみでわくわくしてきます。保護者の皆様、どうぞ我が子の、そして大江小学校みんなの晴れの舞台をご期待ください。

ジーンズソムリエ

10月13日(金)、3年生は、倉敷ファッションセンターの方に、ジーンズの歴史や工程などについて教えていただきました。また、ポケットを固定する金具であるリベットをデニム生地に取り付け、キーホルダーも作りました。思ったより力のいる作業でした。ジーンズに関するクイズにも挑戦し、全員が見事ジーンズソムリエジュニアに認定されました。ジーンズがぐっと身近に感じられるようになった時間となりました。



参観日・学校保健委員会

10月17日(火)に、参観授業と学校保健委員会を行いました。参観授業は、オムニバス授業、道徳、ニンクスイーツ試食会、親子ふれあい活動と、各学年でバラエティ豊かな内容が繰り広げられました。

学校保健委員会には、保護者の皆様と5年生、6年生が参加しました。最初に、保健委員会の子供たちが生活アンケートの結果等を発表しました。その後、川崎医療福祉大学医療福祉学部教授の保野孝弘氏による講演がありました。睡眠と脳の関係や、生物時計と1日の時間とのずれを解消するための方法など、面白く、そして分かりやすく話してくださいました。最後に、「どんな心身の状態の自分になりたいか、そのために自分はどんな生活をするのか、それを決めて実行するのは自分自身なのだよ。」と話を締めくくられました。高学年の子供たちは、自分で自分の行動をコントロールできる力が身に付いてきている頃だから、この講演を生かし、よりよい自分になるためのよりよい判断と実践を自分自身の力でできるようになってほしいと思っています。



稲刈り体験

10月20日(金)、5年生は稲刈りの体験をしました。6月に三世代交流の活動として行われた田植えから4か月余り経ち、稲が大きく育って収穫の時期を迎えました。その稲を、地域の方に教えていただきながら5年生が刈っていました。鎌を初めて使う子供たちも多く、慣れない手つきながらも一生懸命に刈っていました。その後、稲を一株ずつ束ねて干しました。手作業での稲刈りを体験し、機械化された現在の便利さ、効率の良さを知るとともに、一株ずつ丁寧に刈り取っていくことで味わえる収穫の喜びも手にしたのではないかと思います。



いも掘り体験

11月2日(木)、1年生と2年生は、6月に植えたさつまいもを収穫しました。体育館の工事があって、水やりなどの世話が十分にできなかったこともあり、さつまいもは育っているのかと不安になっていました。でも、福寿会の方々が、時々お世話を手伝ってくださったり、収穫の喜びを感じられるような配慮をしてくださったりしたおかげで、この日、子供たちは大きなさつまいもを掘り起こすことができ、大喜びでした。収穫したさつまいもを持って帰り、その喜びを家族に伝え共有したことでしょう。



地域の方々のご協力によって、子供たちは様々な体験をすることができ、その度に感動や喜びで心が満たされ、豊かになっています。地域の皆様と共に子供たちを育てることができている大江って、本当に素晴らしいところですね。